

穂高PTAだより

発行日 令和4年3月1日

穂別高校PTA研修委員会



C
O
N
T
E
N
T
S

・ご卒業おめでとうございます	PTA会長 原 口 毅	2ページ
・「探究するということ」	校 長 小 野 達 彦	2ページ
・10人でやり遂げた3年間	3学年担任 武 田 幸 大	3ページ
・進路活動を振り返って	進路指導部長 秋 元 正	3ページ
・生徒会活動について	生徒会副会長 土 屋 日 菜	4ページ
・集団としての成長と個々の努力に感謝	1学年主任 早 瀬 憲 寿	4ページ
・未来を見据える3年生へ	2学年主任 飛 驒 勇 佑	4ページ
・令和3年度 PTA事業報告		4ページ
・PTA研修委員		4ページ

「ご卒業 おめでとうございます」

PTA会長 原口 毅



卒業生の皆様、そして保護者の皆様、ご卒業お祝い申し上げます。また、これまで子どもたちを温かく見守り、時には厳しくご指導をして下さいました先生方に、心よりお礼申し上げます。そして、現在も猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響を受けられている皆さまには、心からお見舞いするとともに、日夜最前線で感染症の治療や看護、予防接種等に力を尽くされている医療関係者や担当者の皆様には、感謝と敬意を表します。

卒業される皆様の高校生活はいかがだったでしょうか？中々思い通りにいかない事も多かったと思います。このコロナ禍での緊急事態宣言を経験し、高校生活でも今までにない我慢や制限をしてきた事と思います。学校になかなか通えず、家で慣れない学習に戸惑や不安を抱いたり、学校行事の縮小や中止を余儀なくされ、辛かったこともあったでしょう。

そのなかで、日常の素晴らしさや当たり前の生活が、如何に大切かと言う事にも気づいたのではないかと思います。いずれ、この困難を一緒に経験し、乗り越えてきた家族や先生、仲間が大切な思い出になるでしょう。明けない夜などありません。この3年間は必ず良い経験となり、人生の糧になります。その日を目指して前に進んで行きましょう。

最後に、「皆さんはそれぞれ新しい道へと歩み出しますが、決して一人ではありません。家族や

先生方が必ず見守っています。勇気をもって進みましょう」

卒業生の皆様に心から祝福を贈り、ご挨拶とさせていただきます。ご卒業おめでとうございます。

「探究するということ」

校長 小野 達彦



現1年生の入学式で「高校時代に身につけてほしい力」として次のように話しました。

何か疑問に思ったり知らないことに気づいたときどんな行動をしますか？

一つ目、すぐに自分で調べる、もしくは先生に聞く。より速く正解にたどりつくことができ、それを仲間にも教えることもできます。

二つ目は友だちに聞く。聞かれた相手が答えを知っていればいいのですが、相手次第なので正解までに時間がかかる可能性があります。

三つ目、そのままにする。つまり分からないまま放置する。やがて自分が何を疑問に思っていたのかすら忘れてしまうことでしょう。

皆さんに高校時代で身につけてもらいたい力とは一つ目の姿勢です。すぐに答えを見つければ、すぐに次の学びへと進めます。

「あれは何だろう？」「これはどういうことだろう？」という視点をいつも持っていること、つまり好奇心があるということです。興味・関心は人それぞれですが、知らないことを知ろうとする態度・姿勢があればより深い学びが得られます。自分から主体的に学ぼうとした結果なのですから。

調べるためのツールとして皆さんはスマホを持っていきます。そこからYouTube、Twitter、Instagram、Facebook、TikTokなどのSNS上でさまざまな情

報を得ることが可能でしょう。学校にはWiFi環境が整備されておりchromebookも一人一台で活用できます。探究を始め、深めてください。

探究したものを発信する（プレゼンする）力を発揮する場面もあります。

昨年10月町民センターで「総合的な探究の時間」で「穂別×〇〇探究プロジェクト」に取り組んできた3年生が、多くの来賓の方々、関係者の皆さんや保護者を前にして10名それぞれパワーポイントで資料を解説しながら成果報告会を実施しました。

アニメ制作、化石（キャラクター、音楽フェス、エゾ鹿（プロテイン）、アプリ、林業、自然体験（デジタル・デトックス）、子育て支援、クリエイター向けアトリエ建設、メロン（スイーツ）といった十人十色の内容に会場からは大きな拍手が送られました。

また1年生は「音楽」と「社会と情報」の授業コラボで世界の偉大な作曲家についてのプレゼンを行いました。大変すばらしい発表でした。

穂別高校の授業では、皆さんの興味・関心を引き好奇心をくすぐるような仕掛けが各教科でなされています。その中でぜひ知りたい、もっと学びたいと感じてください。

少人数の小さな学校ですが、みんな違っていいOKです。みんな特別なんです。

3年生の皆さん卒業おめでとうございます。皆さんと過ごした日々は一つ一つ素敵な思い出です。どうかそれぞれの行き先でも学びを続けてください。何かあったら母校を尋ねてみてください。あいさつと掃除を大切に、優しい気持ちのあふれる学校、それが穂別高校の新しい伝統です。あなたの居場所はいつでもここにありますから。

最後になりましたが、保護者の皆さま、本校の教育活動につきましてこれまでのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

卒業担任より

10人でやり遂げた3年間

三学年担任 武田 幸大

第71期の帰りのSHRでは、日直が毎日ショートスピーチをします。1月17日のSHRである生徒が「いろいろなあったけれども、こうして卒業を迎えられるのはクラスみんなのおかげ。感謝している。」とスピーチを行い、多くの人が「卒業」を実感しました。新型コロナウイルス感染症の関係で、学校行事や進路活動など様々な場面で振り回された3年間でしたが、そのたびに仲間と声を掛け合い、支え合っている姿が誇らしい限りでした。保護者の皆様に「仲間を大事に」と声をかけていただいた成果だと思っています。この場をお借りして御礼申し上げます。

4月からは、それぞれの進路先で次の夢に向かって努力を重ねる事と思います。「社会に出たときに愛される人材」になってもらえるように、いろいろな場面で声かけをしてきた3年間でした。皆さんならどこに行っても輝けます。自信を持って前に進んでください。いつまでも応援しています。



進路活動を振り返って

進路指導部長 秋元 正

今年度の進路に関わる活動として、職業講話、札幌での進路相談会、社会人講話、インターンシップ、租税教室、出前授業などを行いました。

今年度も新型コロナウイルスの関係で、2度にわたる緊急事態宣言により各活動に様々な影響があり、6月実施の2年生のオープンキャンパス見学会が中止となりました。しかし、3年生の進路特別講話をオンライン形式で行うなど多少の予定変更をしながらも、概ね実施することができました。ただ、年明けの1月からはまたコロナの感染が広がっており、今後の社会の変化に対して慎重に対処していきたいと考えております。

今年の3学年の進路状況は左記の通りです。在校生も進路希望をかなえられるよう、今以上にたくさんの皆様方からのご協力をお願いします。

3年生の進路決定状況

	決定者数
国公立大学	1
私立大学	2
専門学校	1
公務員	1
民間就職	3
未定	2
合計	10

(令和4年2月18日現在)

新生徒会の抱負

生徒会活動について

生徒会副会長 土屋 日菜

今期の生徒会活動は、みなさんが楽しめるような活動を生徒会執行部で案を出しながら、一つ一つ丁寧に実施していきたいと思っています。

そのためには、全校生徒のみなさんの協力が必要な場面もありますので、そのときには力を貸してください。

また、コロナ禍で、みんなが集まって行う活動が制限されることもあると思いますが、最大限できることをみんなで考え、楽しい生徒会活動ができるように頑張っていきたいと思っています。今後もし生徒会活動への協力、よろしく願います。



学年主任の先生から

「和顔愛語」

7人で過ごした時間

一学年主任 早瀬 憲寿

4月に3年後の社会的自立を目指して高校生活をスタートし、1年が



経とうとしています。この1年間で1年A組のみなさんは、「基本的生活習慣と基礎学力の習得、自他への思いやり、前向きに取り組む姿勢」を目標に様々なことに取り組みました。1日1日の生活や授業、クラスだけではなく先輩と協力し取り組んだ行事から、成長できたこと、これから成長したいことを自分自身で見つけ、1年間7人で過ごした時間を振り返って欲しいです。

今後は、2学年として自分たちの学級だけではなく、先輩を支え、後輩を助け、学校全体をより良くするため中心となって活動してください。また、2学年では「学力の活用、生



徒主体の学級づくり、助け合い・学びあう人間関係の構築」を目指し、1学年で身につけた力を生かし、2年後の社会的自立を目指して歩み続けてください。

『通過点』と『ゴール』

一学年主任 飛驒 勇佑

PTA便り前期号で、『インタビューシップ』と『見学旅行』は、高校生活の通過点として立派に成し遂げることができると考えている」とお伝えしました。両行事ともに新型コロナウイルス感染症拡大の中にあっても、成し遂げることができました。ひとえにインタビューシップを受け入れて頂いた地域の皆様や保護者の方々、見学旅行に関わってください



令和3年度PTA事業

(令和3年10月～令和4年3月)

- 11月27日 高P連健全育成講演会
(小野校長参加：室蘭市)
- 11月29日 道徳教育講演会・PTA講演会
(株式会社ゆめかな 石川尚子様)
- 3月1日 PTAだより発行
- 3月27日 (予定) 第2回PTA委員会

編集 PTA研修委員

委員長 真壁 羽純
委員 土屋 祐規

た全ての方々による協力が、多くの幸運を引き寄せる結果となりました。ありがとうございます。

次年度は、進路の重要な局面を迎えます。高校生活のゴールを意識しつつ、長い人生と将来を見据え、卒業後に自信を持って歩めるよう1人1人が努力する年となります。また、最高学年として学校全体を牽引できる心の強さとやさしさを育てるよう、集団の更なる成長を期待しています。